

## オンラインシンポジウム

### 「会員のダイバーシティを考慮した、2020 年代の学会活動を考える」

2018 年に発足したダイバーシティ推進委員会は、8,300 名を超える会員が参加する日本産業衛生学会において、各会員のライフスタイルを考慮した学会活動への参加促進や若い世代の学会運営への関与など、学会の持続的な発展を目指すための方策について、検討する活動を行っています。

これまで、会員参加型の「ワールド・カフェ」形式による「会員が参加しやすい学会活動」についての意見交換を企画し、得られた意見は委員会提言として理事会へ報告をしています。

子育て世代の会員が、最新の産業衛生の知識を習得できる機会として学会参加しやすくなる手段の一つに、参加中の託児施設を設置や、遠方で開催される総会や全国協議会において、様々な事情で参加できない会員のために、ICT を利用したオンライン開催等の内容が含まれていました。

2020 年に入り、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響により、各種セミナーのオンライン開催については、期せずして実現可能になりました。

オンライン開催は、今まで一部の会員のみが参加して、会の運営などを進めていたという従来の方式から、全会員が関わることでできる機会が増えたものと考えます。そして、本邦における労働者の衛生管理活動において、本学会に入会し、十分満足できる情報提供や、参加の機会を提供することは、この先設立 100 年を迎える当学会のあり方にも大きく影響をもたらすものと考えます。

本フォーラムは、当委員会委員によるこれまでの活動紹介をはじめ、他学会での男女共同参画を含めた取組の紹介を行った後、全会員に対して実施した事前アンケート調査結果に基づき、産業医部会、産業看護部会、産業衛生技術部会、産業歯科保健部会の 4 部会選出委員と専門家委員、理事会からの担当理事を交え、パネルディスカッション形式で意見交換を行います。

2020 年代を生きる私たちにとって、ダイバーシティというキーワードは学会活動だけでなく、欠かせない内容であると考えます。多くの会員に当委員会活動を知っていただき、そしてより多くの会員が学会活動に参加することができるよう、学会活動の将来構想などについて、意見交換ができることを期待します。

#### 【シンポジウム内容】

- 1、ダイバーシティ推進委員会の説明・活動報告
- 2、指定発言 他学会での取組

池田香織 先生（日本糖尿病学会、女性医師活躍の立場から）

- 3、アンケート調査を基にした、パネリストによるディスカッション
- 4、参加者との意見交換

【パネリスト（敬称略）】

池田 香織

ダイバーシティ推進委員会委員：

西 賢一郎（産業医部会）、伊藤 雅代（産業看護部会）、中村 憲司（産業衛生技術部会）、  
安田 恵理子（産業歯科保健部会）、野原 理子（専門家委員）、

担当理事：久保田 昌詞、鈴木 純子

【司会】

西 賢一郎（ダイバーシティ推進委員会 委員長）、野原 理子（同 副委員長）

【開催案内】

日時 2020年11月22日（日：いい夫婦の日） 14:00~16:00

場所 オンライン会議システム（Google Meet 使用）

参加申込 以下のリンクより参加登録フォームにアクセスいただき必要事項を入力ください。

<https://forms.gle/RDnWriBnH5JCZEzn9>

※組織のセキュリティでアクセスできない場合は、本メールをご自身のスマートフォンなどに転送して  
そちらからアクセスいただくか、下記のメールアドレスにご連絡ください。

ダイバーシティ推進委員会事務局メールアドレス [jsoh.diversity@gmail.com](mailto:jsoh.diversity@gmail.com)

※お問い合わせはメールのみの対応となります。委員が事務局を担当しているため回答にお時間を要する  
場合がございます。ご了承ください。